四先き

参事官は別に成文化

會社の資本は我國の通貨を我國內に於て設立せらるる

であるが之は韓國後日尚浅 なければならぬ事となるのなければならぬ事となるのなければならぬ事となるの

H

支

題

滿機構改革問

たのはこれであつた。現地案の内容はである。現地案の内容はです問題が護頭するや構改革問題が護頭するや

音社資本金の外國貨幣建許可 につき高橋實業部總務司長は 左の如く語る

變直後暫宝的に設けたものでてゐるやうに現在の機構は事

が幾度となく言つ

あるから満洲國の現狀が安定

し一層助力を與へる標在滿機 兵他の點から日本が同國に對

いて林陸相や現地の権威谷多なも過言ではない、それにつな今や必然的運命にあるとい

に於て氏の録宵は大いに珍重 される事であらう て二位一体制を擔いでゐるこ とは勿論であるが、この十数 単方面の意見が大体に於 一本に置かれてゐる改 が務、拓務兩省に提示された 事部作成の参考案である、他 本に名案があればそれを採擇す に名案があればそれを採擇す に名案があればそれを採擇す

他 萬六千圓激増し前年同期より の は、塚崎理事の後任候補に川 の 備、塚崎理事の後任候補に川 の 席上で報告された日銀の純益 金は前期に比し千九百七十四

一 石三千六百十萬一千四

不格的折衝に入る

#機關改革問題®

諸問題を押除け忽如注視の的

佐に関係三省の原案とし

三千

六百餘萬圓

譯ではない、勿論谷多事官はされた現地案を携へて行つた

新京日日新聞社 水松十越河 行用用

本格的折衝に乗り出さんとよ本格的折衝に乗り出さんと よ本格的折衝に乗り出さんと 之英介

職手機上に於ても二重の手 数を必要とし、傷めに事業 数を必要とし、傷めに事業 を関滑に且迅速に誘致す るの目的を達成するには依 然として不便があつたので ある、依て此の間の不利不 便を一掃する爲め今般關係 各部合同審議の結果別紀の を部合同審議の結果別紀の

日本國の要望に副はしむと日本國の要望に副はしむともためであつて右の勅令並が令に依り相當額の外國資本を圓滑に國内に誘致する し且つ現在投資額最も多め先づ以て我補洲國を恐めたづ以て我補洲國を恐

その態度を見ると 打笑つてくるものと信じてゐたが してしまつた。 めるなんて、低し く合に思抄けか か、一こんな

「いや、この女があんまりしつ」「え、松瀬町!」 而になってわめい

思ひますよ、お宅は、速力なんで、冷却せんと、頭巾が散らばらんと 養無くなってゐる。 外が何かで、 い」ものか、洗ったが。 娘は、その返答に、何く答へて いえ、やはり後草の松薬町で 「さらですか、成性、類べたが えたいほんの一

電話具度し

あんま 一多男 報數女 太御員

日本橋通中家内第至急回伺ひ致します

調治療所

新満社

P



三

御用命は!!

電話

五六〇九番

迷はされず

信用と責任を重んずる

西山萬年筆門店

ダイヤ街(ダイヤビル)

一人は、それから無国のま」一 意三四三人番

J施術ヲ受ラレ再生ノ幸福ヲ得ラレヨ 痼疾難ノ爲メ永年御困リノ方ハ當療法 二從事相當ノ効果ファラワシテ語ル一度來よッ二大正十四年以來約十ケ年居住一報惠者賭氏ノ

玉 東亞 (整国軍) の天地 「え」のは答えた。

料稅捐

日余水

CID

と品物が

解雇廣告

か、思ひのぼかる たので、一瞬節心な 品物だったから しませんかし なくともの 非常に困ってゐるものですから 谷める脚子ではなかつたが・ いって別に、際に、あやまら 思うございました私。家が、 が人が配つ 看護婦附添婦

下宿。論語 會 吉野町吉野稲内新京支部 派遣大連連配研究

見話增設 舊二七二四八五

本橋

通

すし竹食堂

及事 店務 舗所 一聚酯伯後接會 景五八四五 年亮順器吉野 向貸家アリ 姓名在社

全に開放したし 姓名在社 世名在社 希望者は至急本人來談あれ 三 笠 町 二

三丁目

御参考に瞬前の おみやげ店に…

滿 洲 P げ

年齢十五才以上の日本人三名市内に確實なる保證人二名 表具師大室交仙堂 內弟子入用 是非御越し下さい!! 電話二〇六一番 げ賣店



以て其資本を定むる場合に を満洲関独人たる株式會祉 を入合資金社が日本國貨幣を 及合資金社が日本國貨幣を

一株一の金額、気 んかなくなって 領ない問題だつ 所而を呼たれた といい い青年だったの

特来に非ざるべい。 がたが、いきなり自分に、物張くつた。

を目的とする一般の會社は一大学の一般の自社を除き其他の事業を目的とする事業を目的と対なの事業を目的とは、無知言動令を制定公布し、銀知言動令を制定公布し、銀知言動令を制定公布し、銀知言動令を制定公布し、銀知言動令を制定公布し、銀知言動令を制定公布し、銀知言が受力を制定公布し、銀知言が受力を制定公布し、銀知言が受力を制定公布し、銀知言を制定公布し、銀知言を制定という。 我國には影響無 大蔵。日銀、正金の意見一 致

日午後職相官邸に正金銀行の 見玉、大久保正副頭取、日混 の土方、突井正副題載を招致 し、大職省特別銀行首腦部懇 護會を開催し、米國今回の銀 護會を開催し、米國今回の銀 於ける經濟界の動き、関際的 於ける經濟界の動き、関際的 級 ケートな関係を示すものと後 の高騰と對支貿易は相當デリ の貸に對策を練る必要は無い 無く日本として米國の銀國有 七月

預金部資金へ 百萬圓崛通 民國及ひ香港貿易概算左の如月中對滿州國、關東州、中華 滿洲國其他貿易

事態の推移により之に適應せ 関係が複雑化して来た今日の 関係が複雑化して来た今日の

進めついある拉資線も感よれ のでは、 の

1トは満洲城迄延長され従来 朝鮮或は大連經由の北満行野 がられてある、之が實現の時 は従来の下腸經由に比し三分の一に短縮されることとなり

る事は當然だ」

「現在の三位一体制は暫定的

谷縁事官はまた語つて

由近く

從來に比

し三分の

佐る影響の爲外國の資本き事及ひ爲替相場の變動

るは常然である」

ものとは思はない、

満洲國の

と改變の要を親いてゐる、要つれ改革の餘地は充分ある」更に又拓相象任の岡田首相

を機會に敦賀北鮭間の郵便ルーを機會に敦貴に引渡され本い

を除去する爲めに先づ實際 そこで巳むを得ず右の支障 大の支障を來したのである

中農林関係の分は平

満洲に於て事業を行

誘致の目的を達成するに多 るといふ結果を楽し、外資は関幣に依る投資を躊躇す

會社資本

外國貨建許可は外資を誘

別に此の會社に對す

一融通した

高橋總務司長語

3

以て定むる事を

を其の本國に於て設立する事と云ふ方法が案出せられ事と云ふ方法が案出せられ事 と云ふ方法が案出せられ事 を現在迄この方法に依て外 國の投資が行はれて来たのである。然し乍らこの方法 たるや 或る事業を行ふ為め に二個の會社を設立する事

國の銀國有は國際的にも我國 に就いて檢討したが、結局米 に就いて檢討したが、結局米 し(單位千圓) 配出四八、〇四〇 配出四八、〇四〇 配出四八、〇四〇 配出四八、二五四 即ち前年同期に比し輸出は一 千六百一萬三千圓(五割)を 輸入は百六十九萬三千圓(九 分一厘)を夫々増加し、輸出

を見た、即ち上海に於ける影であると云ふ事に意見の一致にとりても整當り影響は輕微

こく云つたからです、所して下さ

管報は、はつとしながら

つひ、腹が立つて

大正八年から九年の上半期にた続京も同年の下期には急角変の反動をうけ、入荷特廉物は十五萬順に激減した、當時は十五萬順に激減した。當時は十五萬順に激減にはまだ三十五、 美味しくて安い食堂 輸出貿易の地方別左 悪はれますと

「自分で聽

つてあたんでする ね人があつてこれから行から

はお止しなさい

れませんかし

はいー

「自動車で盛りませらか」 傷かにうなづいた。 これから、そんな と自覚したら、戦

慢度 お解像を

あらう好况時代であつたべし、新京には再ひ來ないで

急角度の不况

た豆が、驚くなかれ質に百 北端の一帶から新京に運ばれ 北端の一帶から新京に運ばれ

火葬場、共同墓地の空地から火葬場に至る線路兩側の空地

て結ない異似

月着工したが、九月線工の選・本年四月滿洲國實樂部と大連本年本に 八本店本天)の錦州工場は大 「大神」 村花 會社 錦州工 場操業 慌かつたもの いいのいかり を見て立去った。 します。あんまり口

農狱はありません

町ほど歩いてから、娘は、

かってかけまる 問題物が、散らかつ ませんかー

武太時こたあ
カは日のがつ

でも家財殖具の荷造りをして、 が京輝の貨物ホームに持ち出し、女、子供は殆んど全部が 大連に逃れて男子のみは婆勇 なを組織し、糧食を準備する 一方、東公園に土種を築いて

新京に押しよせたためである たため、ウラデルから輸出されてゐる北浦の農産物が全部 れてゐる北浦の農産物が全部

黄金の雨を降らせた。これ

負投げを喰はされ特強商は勿 でない事に集るものとのみ信 でてはかない夢に醉ふてゐた を確略は消鏡のために見事背

これを鐵路大連にひいた、從の秋運賃の創展をして直接

が、蒲鐡はこれを奪ふためこ

日に至つて支那が日本の型や 準備が整へられた、幸ひ同日 である。かつてた

事態はいよいよ急迫し日支の留民動揺 懇願な態度

百余年の歴史を辿りて

三日ごろから全議の居留民は一番態はいよいよ急迫し日支の事態はいよいよ急迫し日支の

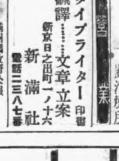
は約四千人でこれが保護機関のもなかつたのである、六日のもなかつたのである、六日のもなか特兵の一般が長春師に、到着した時は、一同が蘇生のも、當時満洲に居留してみても、當時満洲に居留してみてに足らぬ値の間に、日本の各に足らぬ値の間に、日本の各によってみてに足らぬ値の間に、日本の各に足らぬ値の間に、日本の各に足らぬ値の間に、日本の各に足らぬ値の間に、日本の各にとっても、

一次に、老川糸岐といふ女の人 人から、一寸臓まれた用性があ 人をたづれて行くんです。その

7







タイプライター 印書 一条 新京日之出町 フィカー 印書

よかつたですの間は機関所までい

萬年筆 専門の店」 店廣

頃にサービスさして載く 破損故障の修理は値な修理費で完全に あれこれとインチキ商品に専門店が生れました 修販理売

値の安い 品がよい

特計(一本) 右之者今股総合に依り七月三十一日限解履致候間爾今郎 元外交員 森本 新京東二條通 榮(中五歲) 清店 於內鮮滿各地出品共同主

店とは何等闘係無之候

一等入賞名譽金牌授領 _{勇粛} 強が之華 (新之華 新京吉野町二丁 服第二回全難菓子品評會 電話林店三八九二番

€? Z Z

七月二十三日ユレニエフ大使中正公平な最後案を練り上げ中正公平な最後案を練り上げ

内容を詳

練気たつぶりの でなかりと個教

田外相の斡旋

昇格を計畫

大使館に

大使館を設置し他の國にも昇

計量して居る 計量して居る

く正式準備に着手の窓向有

人として取扱ひ支那側の引渡したし、武装解除の上抑留され

○職司令官)十九日午前七時 務所長)十九日午前七時 時三十分發新站へ 時三十分發新站へ 時三十分發新站へ

新築貨部屋

▲ 大河内 正 做子 〈 貴族院議員〉十九日午前九時設院議員〉十九日午前九時設大連へ 大連へ 大連へ 大連へ 大連へ

新廳大小貨室、賄付、

货事務所向

介紹先 永樂町三丁目十六番

天昌洋行自轉車店

田外相の仲介案

親善を増進し平和的諸縣案するもので若しソ聯が日稿が、同間の承認を求めんと

を握る鍵として注目 かにあり、此點がな

別個の新提案をなし本年會議

勝側は三

鉄交渉はかくし

一年二ヶ月間も

大蔵省嚴重斧鉞を加

越出總領事、山中顧問、根岸副十時美術協會階上で開催、

以上に増加させるは避けねり上に増加させるは避けるため赤字公債を昨年が要があり國債の信用を保

職印側は未晒綿

社

ばならの

五分利公債借替に依る支

仲介案に如何なる態度を示す 的價格として應諾する

し十一日大橋次 側の誠意を認め では如何

長は外相を訪

本年度の歳入増加

順綿布輸入問題に就き協議す (バタピア十七日登園通)未

滿洲

語研究員募集

期期時教 資調 間日間材格

特して居るが、大角海相はた後で差支無しとの自電論 会ある毎に即時断行を掘調せ を新にしたが、三省の意見は 未だ一致を見ず、海軍側は岡 て居る、即ち豫備會商は明年 本會議の前哨機であるから比 を新にしたが、三省の意見は 大に一致を見ず、海軍側は岡 で居る、即ち豫備會商は明年 本會議の前哨機であるから比

なみに揉んで物別れ

渉の跡を辿る

遷延一年二ヶ月を顧れば啞然

標右最後案を補洲國側丁公使と述べソ聯側の考慮を求め同 を興へ交渉の圓滿解决を計を興へ交渉の圓滿解決を計を興へ交渉の圓滿解決を計を現る意後案

決裂でな

の誠意を疑ふ

東京國通】十年世豫宴各省 要求概算書は本月中に提出さるべき陸軍關係の北海道拓殖費、転衛費、新 会職充實費、計三億餘圓と內 務關係の北海道拓殖費其他を 務關係の北海道拓殖費其他を 於き全部提州濟みだが、新規 除き全部提州濟みだが、新規 除き全部提州濟みだが、新規 除き全部提州濟みだが、新規 除き全部提州濟みだが、新規 所、たぐ十年度豫算基準額は 世上多少減少し大體十二億万 至十三億間になる核様である が、たぐ十年度豫算基準額は 世上の如き最大により約二億 間の増加を見て居るので養算 である が、たぐ十年度豫算基準額は である が、たぐ十年度豫算基準額は

するから歳入骨加の朝寺まは財界の現狀より考慮を要出滅る本度内に断行する事

告様の薬局

歸滿の大橋代

表船中談

三組合

譲歩し で歸滿した港外まで出迎へた「ばいかる丸」で約一年振りを構作。

大型を かしたならば は にならば にならが にならが

一、自然増收は十年度には九年度同様の増收を見るや否や実践である。 ・実践である。 ・実践である。

は無意味とならんとして居るの形勢でオランダ綿布の劇當の形勢でオランダ綿布の劇當

入量は七月迄に二千五百

▷急至◁

慢歴書持念來談あれ

女中數名入用

話

增

設

主人用 帳場用

五五八八番

新京吉野町

旅

旅館

案

新京目校の場所下宿営業に最適電園に

名在社

寛五三九五巻

を述べ妥協困難を感ぜしめた 制申合せを説明し説解を求め 制申合せを説明し説解を求め

菅沼タイプライター

印

書

應

第三者たる れを認める

れざるを得ない立場にある、

に加入する

に於て我方は終始誠

然たるものがな

聯外務人民委員長は突如

月九

へも傳はるに至つた、之に加 - 、 へも傳はるに至つた、之に加 - 業員の不穏事件並に補洲國側 - 業員の不穏事件並に補洲國側 - をまで、かなりうがつた説さ

センセ

ラクに乘上げたまゝ五ケ月 ・べき狀態に陥り、デット ・の題材料が山積し全く懇

在滿不穩團体

吉敦線泥鰍溝で秘密會議

し日本

四、再ひ交渉開始

のる、會議は決してはいので歸つて來た。

改革問

題

收穫豫想 吉林省鮮農

笹

屋商

新京永樂町一ノ九〇ダイヤ街)

八月十六日より

品を取揃へ開店致しましたか

衝

開

新開墾で増收か 避難民歸農と

第で向ふ側に誠意ありや無本件の解决はソ聯側の肚本

外務並に陸軍兩省試案に於て外務並に陸軍兩省試案に於て 便の機能並に命令系統即ち見が懸隔して居る駐補全権

THE R

第二次五

日本の行動を牽制し、此遷延に依つて北滿に於け

響を及ぼし満り雨園の調交渉の前途に決定的でる影響を與へると同いると同いの間線に極いて悉いると同いのでは、

市が の大きな疑問を投げ與へた儘 五ケ月間無氣味な沈默が續け られてゐたが、本年二月二十 四日滿洲國政府は拘禁中のソ

「京城園通」當地某所に達した情報によれば去る十四日朴元復、金一成、韓熟梁瑞鳳外十四名の在滿不穩風体各代表は吉敦線較河の東北五里、朝鮮人部渚泥鮲溝に秘密聯合會

助を求むること

表式を派し

間の客観的情勢は頓に交渉軍

一、日滿要人を出張先に擁し項を決議した

(8

鑑み、

作柄不良、米價品勝等の條件によつては考へられるが シャム米輸入は八十萬石の 値少であり實質的影響は無 なつたばかりである此際禁 なつたばかりである此際禁 排日運 アリゾナ 動

附領事

十五日と期間 本人排斥環動 本人非不環動 大で依和其(布西

二名を以て全族事務を擦當せ(蒙古語にて副官の義)各々

2第二回會合を行ひ協
をみて來たが、更に兩

会は、 文金薫物に於ては採金 一度社(消州國法人)の成立と 共に之れを監督して採金に當 らしめ、林築方面に於ては從 らしめ、林築方面に於ては從 が加き観伐放火を敷成する をとり小魚、幼魚を放流して をとり小魚、幼魚を放流して をとり小魚、幼魚を放流して で変葉は前途頗る有望にし で、文字通り北瀬の寶庫たる

指導に當らしめ、漸次を総合縣に農業指導員を延

皇軍將兵の活動で

治安確保された北満概况

(五)

漢する 豫元を

州て

取締を要求

v

に對し左の如き意向を有して 省のシャム米輸入禁止緩和案 B

交渉停頓で ソ聯又復デマるか

| 「東京國通」北鐵安砂は停頓 | 件に関し日本政府の陰謀ある | 代東京國通」北鐵安砂は停頓 | 件に関し日本政府の陰謀ある | 代東京國通」北鐵安砂は停頓 | 件に関し日本政府の陰謀ある | 代東京國通」北鐵安砂は停頓 | 件に関し日本政府の陰謀ある | 代東京國通」北鐵安砂は停頓 | 件に関し日本政府の陰謀ある | 代表 | 中に関し日本政府の陰謀ある | 代表 | 中に関している。 外務當局嚴重監視

▲荒木科長(交通部郵務科) 十八日午後四時三十分最大 連へ 年禄十時勢四平街へ 午禄十時勢四平街へ を意味するものではない

事往來

(承徳順通) 信ずべき 抑留さる

百

の推定)を最大のものとする 同銀江、黒龍江、松花江沿岸 一帶に於ける淡水魚の收獲は 年産約三百萬圓と云はれ、之 れ亦北端名物として吾等の味 をさるもの、將來邦人の進出

をせる。 信の日も遠きに非ずとり 信の日も遠きに非ずとり 互油製造等あるも概ね家内的 の小規模綱質に過ぎない と省内の三分の二は未 とのである を当れ家内的 を当れ家内的 にはまり加工目

省一般狀况 ◇興安東分省の概況◇ 本分省は両北境は大興安樹を 本分省は両北境は大興安樹を 本分省は両北境は大興安樹を

三、興安東、南分

4

産業は農業を第一とし

外務兩省試案を基礎として審 氷田軍務局長は十八日午後二 意見交換 P 農林省は反對 ム米禁輸緩和案 外務兩省意見漸次接近 事はアリゾナ州知事に對し邦 時に迫るに至つた右排斥運動 にとせず、ロスアンゼルス領 時に は政治的に利用される惧れな 第

小菅刑務所に收監した小菅刑務所に收監した

その

B

【大村國通】太刀洗飛行聯隊等国大村灣上空で殿間横操縦等三中縣の黒岩中尉は午前九等三中縣の黒岩中尉は午前九 太刀洗黑岩中尉 墜落溺死

湖伊 湖伊 は は が 無 気味な 脱み合ひ で

相手はお互に申分ないはず

北鐵交渉からかへる。滿州國 計畵あり、實現は早きに如か計畵あり、實現は早きに如か

川砂販賣 多少二不拘御用命被

新京祝町三丁目

下度候

露披御店開

目課業營 **応度皆様に倒氣に召す** り何卒御買上に別として一應御來店の程御顧申 お安く正價主義にて!!

調製致します

特に洋服及び毛皮は御好に應じ

に送つて拓務省の第一、第二の頭及び種牡四十頭を購入し来 兩協會の事業進捗

になった。まだ、木本 米たでうに

| 一般記録 | 大日本豫言界の大家 | 一般記録 | 大日本豫言界の大家 | 一般記録 | 大日本豫言界の大家 | 一の一代運動 | 大日本金書音長 | 一代運動 | 大日本金書音長 | 一代運動 | 大日本金書音長 | 一代運動 | 大日本金書音長 | 一大日本豫言界の大家 | 一大日本金書音長 | 一大日本金書音長 | 一大日本 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000

随時 午前八時より二時まで 吉野町一丁目十一番 事になりましたから 何卒宜敷御顧申上度く方なら以御厚情御引立に預り厚く御禮申上げます今と掲書ひ申上げます



家屋覧にた



果亞の天地

特配の最良戦やといる 東京セメント工戦総式 東京セメント工戦総式 の略表口まで の略表口まで 配の事田

さなくいます。

减價賣

新鮮·偏良 **内外第一品**



七、拓新省の慶止は主張しないが、右の結果常然薬洲國に對する拓新省從來の權収に對する拓新省從來の權収に對する拓新省從來の權収に以下。 と観測する向きが多い と観測する向きが多い

滿機關改革問

(三)

諸問題を押除け忽如注視の的

外務眞相調査 新案浮島

排日運動

大西洋横断飛行 大西洋横断飛行

軍には異に若干の經濟顧問 関東軍特務部は右の經濟會 関東軍特務部は右の經濟會 監督に當る、從つて現在の 監督に當る、從つて現在の 監督に當る、從つて現在の と別個に満洲國に設けら になる には異に若干の經濟會

貨物輸送旬况(八月上旬分 新京鐵路局八月上旬 貨物輸送狀况

日補兩國の衆智

13

電話歌

に示せば大

進

命

鑑

行

大体終る

各方面意向

するものであるから、農栗重は右條約は帝國の伸運を阻害 告を爲すべしと爲する時機方するものであるから、腹棄通 法等國際情勢上慎重なる

子の指導者

*たる列車順覆事件の犯人と 【ハルピン園典】我官憲が頻

世界に誇る

マ監事急遽婦國

いが、闘場方面で では正式態度は表

度に憤慨

沒宿二十一日午前ヵ時酸內三重縣兒童使節八名富七屋

つきつけ猛省を促す

閣議に報告對策を調ずる模様

聯の國際信義

行政權返還の 定案等何處にもない 大使館當局談

大連市民大會開催 鬼角の論評を下す

宣言決議を關係當局へ送附

増税斷行要求ゼず 当局をして考究せしめて居る は、財源関係に就て関係 は、陸軍 は、関係に就で関係に対ればなら

額の新規要求に

結局は公債支辨による

宣傳を開始する有標であるが不利の立場に迫るや旺んに逆

に附され反動に物笑ひの種と しいはれ從つて現在の日務園 といはれ從つて現在の日務園

の責任を日補雨

満病國は種々の報復手段に訴 へんとして居るとの非友誼的な放送をして、國民の注意を 喚起する狂態振りを發揮して 居るが、ソ聯側は今日迄の幾 居るが、ソ聯側は今日迄の幾

だとされてゐる

期間延期林場權審定申請

ラウ ダ 其他ラデオを通じて日 東京會議停頓するやソ 郡は御 東京會議停頓するやソ 郡は御

逆宣傳一笑

▲銀塊及爲替 两外經濟

見ける。

皇軍將兵の活動で

治安確保された北満概况

一を觸る手腕に對し各方面は試みて居るので自電派と云は 首相の手腕注目・ の不誠意に かき逆宣傳を 機に對して 歴 りまを 職計量犯人を で の非を 職計量犯人を 事質を

逆宣傳阻 交渉の經緯を發表が 止に

ク中央部の指令を受け組織的【ハルビン関通】ハパロラス 北鐵爆破犯人

要機密書類入りの

郵便袋掠奪さる

東邊道の朝鮮革命軍の仕業

方三道薄附近に於て革命軍百袋(二百数十通)が永陵街東

國外追放

東京は不愉快だとこぼす

の日人

ソ聯の不誠意には随分争つた

▲上新日本向

停染病撲滅を期 検疫所を軟

太元

者を養成するも以て 役は初き事校教員た 場合を養成するも以て

数年と写すことを は事生の一部又は でするところに依り其

すかねて

高師官制公布

機別関では新に高等師範學校 で設置し且從来省立又は特區 立の師範學校二十校を國家直 を設置し且從来省立又は特區 の基礎を確立して教育制度

事校教員たるべき者を選択 第二條 高等師範學校及師範 第五條 高等師範學校及師範 學校は 高等師範學校及師範 學校。 高等師範學校及師範 學校。 高等師範學校及師範 學校。 高等師範學校及師範 學校。 高等師範學校及師範 學校及節式企文教部大臣之を管理 科目及其の程度並教部大臣之を管理 科目及其の程度並教部大臣之を管理 本文教部大臣之を管理 等工條 高等師範學校及師範 學校及師範 學校及師範 學校及師範 學校及師範 學校及師範

被 景 簡任 教 長 簡任 を 間任とはず事を得う ・ 1 第一人 ・ 1 第一人

北鐵東部線に於ける列車爆破 事件の犯人赤茶露人は目下補 所國の酸然たる司法權の設動 でなつて酸軍取酬中であるが 石の結果有罪の一味は側外に 追放されることとなる模様で ◆命和武氏(哈市税酬署長) 十九日午後三時二十五分着 哈市から を対し中佐(元新京兵站支部 長)十九日午後四時三十分 で一佐美中将(○○覧) 十九日午後一時(○○覧) 十九日午後一時(○○覧)

◆城式毅氏(民政部大臣) ▲大阪株式

● 阪神日米爲替

どしやつて見るんだ **油から、地元新草はどうする** 在積機構問題の蘇火はまづ大 にわが外務省は依然二の足シントン條約の即時慶樂通 多带 集份

本上海倫敦向 ★上海倫敦向 本上海紅青向 本大連金鈔票 物 1810 11810

新京市况

新鮮なる高級果實 國農野下城岳熊 衛ヤイメ京新 所 賣 直 京 新 概中市 店分

施術ニ佐事相當ノ効果タアラワシテ居ル一度來タッノ施術ヲ 受ラレー再生ノ幸福ヲ得ラレヨ痼疾難ノ爲メ永年御困リノ方ハ當療法

村本 天 非

安兵衛 日本福通四二

ルービ生 是非お越し下さい!! 新京に唯一 その醉心地 軒の

獨逸製 生1 N

お待兼 0

舊二七二四番

生の歌迎を受けた後大和ホテ 之を迎へる謝 た、輝玄闘を出づる頃 沛然と襲ひ來つた豪雨 の間に交された固い握手は劇的なものが 中に満洲國小學

市民を代表し

つ歡迎の辭 王自治委員長から の結果を得るに至らずと雖その職責を果されたり所期で、以前をというでは、これにもの関節を著にし克く

として北鐵權益護渡交渉へ一年余に亘り『我等が代



歡迎の辭

一本日の鬱國に際しか交渉に嵩れる大橋

橋大長は左の通り

四と根本的なソ聯に誠意! 対に至つたのは遺憾だ、問題は代償價格の點よりも

受話が困難であるが而も受しれた対し、対いよ最後に腹田外務大いよいよ最後に腹田外務大いました。

を提出したのであります。 は一次であれば、 を担当したのであります。 を担任経し誠意のないで として拒絶し誠意のないで を担いてあります。

大なる歓迎を受け感激に堪

市民に私の

意を得へられ

たし

いてるた様だ、そして僕のいてるた様だ、そして僕の上ニエフ大使を訪問して引上になるのは面

間さないと言つてゐたが、

外職內

交工地

增招優

員聘秀

▼西

洋

洗

クリ

ニン

民はこれ以上東京に居ても

何は

感激の握手

で今日は交渉を決裂せした て來たのであります、そこ 言葉を残して直ちに引揚げ で表して直ちに引揚げ

党を難詰し

橋次長語る

無益だから一應引上げる、 交渉が决裂ともなればそれ は貴方の責任だと最後の釘 をさして置いた。それに對 たんだらら、東京は君不 したんだらら、東京は君不

小軍學大等小坂 島倉本 人生人 黎等 武 四十 緩 流

息如

n

聯の誠意が非常に疑はれる のは認が非常に疑ければな がはない。 はないものと思ふ、此點ソ

かの圏溝解決を譲想し保留 の態にあつた北鐐内部機構 の態にあった北鐐内部機構

うなるか分らない、北鐵交相手の誠意如何によつてど相手の誠意如何によつてど

してという。

聯政府の聡明を手に

ソ聯が交渉中止の責任を満

熱烈なる銃後の

きのふ凱旋の途來京した

洋平和の基礎確立の緒につ

に御陵威によるものでありきつゝある、これはひとへ

同時に熱烈なる銃役

直感造業

何卒御利用を…!

略であつて誠に感激

御希望の方に至急左北へ御来談を乞ふ群無は面談の上新京目拔の場所下宿誉業に最適歸國に付き裕守護り度し

宇佐美中將語る

後援を或謝

図礎日に固くさきに帝制賞 位事しましたが、満洲國の 世事しましたが、満洲國の

介紹先

永樂町三丁目十六番

天昌洋行自轉車店

N

第一等目拔炼所

新藥大小貨室、

第六小賃室、賄付、5 日二番地東二條通角

愈

八月廿日より五日間

割

51

新築自部屋

二尾田 野田 和下中原 村中 田村 回 四 三 | 四(森本

中等野球准决勝

を屠る

のりしのみ「熊本」「市間」・移田の遊

市間 27女子四头盗犊 打损死策斗打

解

雇

廣

告

M

西

男

等關係無之候に付此段廣告仕候 等關係無之候に付此段廣告仕候 1000年とは何

和九年八 二十日 .

土建金物商會新京支店

三強間安打に一點

一十一日より

理想の良人

增

設

主人用

五五八八番

内

▷急至◁

話

女中數名入用

旅 電話二九四八番 館

n

▼洗張染物の 濯 É

新京東五條通十九 電五三七九番へ ムラン洗染工場 店主水守政

合

空

機ク超

1)

械|最

設っ新置が式

半 科 其他 色 R

開

三笠カフェー横入ル b. u) ふく商店

店

◆◆◆ マッサん 東二條通橋南渡る左付御報大第多上いたします 沙主 一陽堂

西公園內大滿蒙新聞社納京大會場二元

(夕六時半)

レアピムロコ) どを洲溝

満洲をごり

大滿洲節

のタベ

しその南方を清値、西北がナ河を以て兩國の機と

のところ関東應衛生課動務門 新京場衛生主任は目下欠員中

玉龍背、蛤蟆

大

州と

踊講習~實演

節

指導

子

氏

新京署衛生主任に

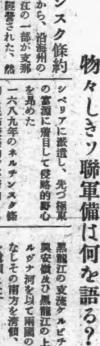
離京凱旋の途に上るはずであ

アビムロコ

八月二十日

門田警部來任

元保安係で新京にお馴染み



風を呼ぶか

ルの流れ

満露國境を探る

(五)

之等の子孫が多数勢力を

謝外交部大臣と握手する大橋外交部大長(右)

長は交渉停頓の為、十九日

午後七時半着列車にて時任した、

寫眞は新京輝にて出迎ひ

ソ聯側は之二

咲いてゐるル

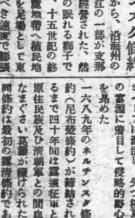
て内地へ瞬還することとな此度騎兵監を拝命致しまし

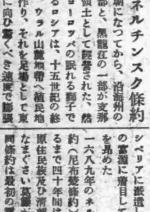
竹桐

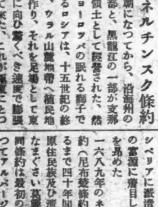
無違から五、 通江Dに難ん 対所を8字型に

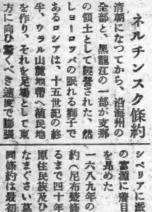
大橋、謝兩氏の固い握手

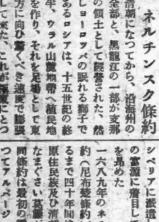
過去一年余に亘り北鐵護

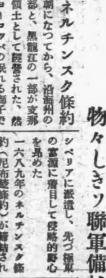


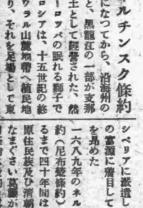














間所を退職して瓦房店電燈株式會社、大石機電燈株式會社、大石機電燈株式會社を被談につきその間一ヶ年歌米を観察して昭和三年の十二月 現職に禁患した人で鴻鏡入社で今日に至った幸運見である。

頭脳明晰

はまつ

伊藤般三氏

卒業して直ちに補鍵に入り4年 常務和締役高橋仁一氏は山形 祭米澤市の機業家に生れ明治 祭の職業家に生れ明治

正監銀行新京支店長伊藤牧三の明城な人で新京の金融界では愛知縣の生れ愛知一中から一高を経て大正十三年に東

銀行員タイプによくあては 銀行員タイプによくあては まつた人である、旅行が好 きで単生時代には日本本土 を完全に一周し今でも暇さ

情味に富んだ

財衆の

MA

委

(四)

所であると同時に長所であ の言を容れ部下を愛するこ とは人一倍である、氏に接

社は昨年の六月新京に重役一 名を駐在せしむること」なつ で氏は斗酒なほ跡せざるの酒豪 実で酔へば時に駄洒落をとば し大笑することもある、埋頭 し大笑することもある、埋頭 なめボートの選手で大いに元 をめボートの選手で大いに元 であるが今は好きな歌曲をう なつてたまにゴルフ、スキー

心抱强い

高橋仁

氣作薬所に轉じたが間もな

納洲國建國されて三年、

航空職充實費等が何れも九月就要求額は目下整理中である批映求額は目下整理中である

計約二億五千萬圓を除き値々 常なる方法によつて自主的創製、公債者、為替差損金、合 は既定繼續費の繰替へ其他適約三億圓であるが、來年度の 此振當を國防費中心に行はん お手 の 一般的新規要求額は 二億圓に過ぎず、財務當局が

一体制と爲し外交機關に依り我統治機構の改組を觸り二位

||出 || はないばめ、そないが大体の強想額は明白でないが大体の強想額は明白でないが大体の強力額は十二億

ヒ首相の總統兼攝

壓倒的に

確認

如きは實にその早計たるを

るの識あり、實に否人は全日補椒図の關係に處せんと

要求額十二億圓中陸海軍費、れば結局三分の一内外に削減される事は必然である、新規である。新規

マトラー首相の總統兼張に関 する人民投票最終の結果は左 の補りである

無別 実権 二、五三一、三七五 無別 実権 二、五三一、三七五 は 監倒的多数を以て 確認され は 歴の 会議

替会損

受財 四二八七、八〇八

批判演説會を開催、小

綜合的國策を忘れ

豫算分取りに墮す

大藏當局各省へ協力を要望

厂目四十月二十年**九**市大 可 競鉤 便 發 禮 己 第 3

連

市

民

緊

急

會

す。それからないんで

たそうです、實際上から見て れ去る水量と言ふものは決し れまる水量と言ふものは決し

水は豊富道路の 洗滌をしてくれ 一市民 今朝の貴紙に水渦れ問題は解 消したから市民は遠慮なくド ンペを使つてもよいと言ふ地

頁八共刊夕紙本

設行所

サカル マケル マケル マケル マード エー・

A THE

会は

田

栜

吉川商會

讀高G聲

◆ずらとは傷巾▶ 事の記明所住名氏

関査準備中であるが、近く 落、変那政府との間に通嗣上

一般の利便並に通關事

の洗浄をやつて頂

た位な撒水

雅誌を見る

新京日日新聞社 新京日日新聞社 新京日日新聞社 新京日日新聞社 本 恵 大 河 榮 忠

额餐厅

時移管

は

絕對反對

| 十二字形 | に壁して居る結
財務電局として各省一段の協
財務電局として各省一段の協

は特に新任委員長片岡中佐の

司會により

一、通信連絡網の機充

て左記の如く行はれる、今回 特別治安維持會は來る二十九

事務

打合せ

全滿稅關長會議開催

機構改組で専ら外交機關に

依存は絶對不

【ハイラル國通】第二回西部

其他に就き協議する管

治維會

第二回西部特別

一、宣傳實施期日一、民間散在武器の整理

七月以降西部特別治安維

當り右の設置を考慮したこと 能太郎氏と貴族院關係工作に は大郎氏と貴族院関係工作に

任所大臣設置に代る審議機關

犬養内閣末期にあつて山本條

行政を確立し満洲國と切實緊

7

帝の関係を確保し以て日満議 (快つて其の統制を爲すほけだ し刻下の急務なりとす、右宣 の改組に際して専ら外交機 脳に依存せんとするには絶 對反對す 一、滿鐵附屬地の行政權を直 ちに満洲國に移管せんとす るには反對す

支那向

滿洲

山海關稅關同樣無

税ご觀測

見解

共同檢査のため、服骨、服骨の、石炭の大力を

山路中佐

内地へ凱旋

では貴素輌院福府關係等を考 では貴素輌院福府關係等を考

直属一方る電要國策を

も約三十の匪賊が来襲したと同時刻に同様南方泉溝方面に

時列車で現場に急行した、又四平街警察段より○○名が臨

話五

撃退した、尙逆襲の處れあり救援輸出動、散時間交職の後

満洲に於ける我統治機構

下に政務總長を置き以て行三、我行政機構は駐補全權の

の一項は、

動を與へて居るが、 務州國財政·當局では左の 右に就き

月廿五日附を以て支那楽星洲國山海關稅關設置直後同 満洲國土貨に對しては山海 一道用 一 に於ては當然

民法に從へば満洲土貨の映するものと認められ、 加税(從價百分の七、五一ト那移人に對し韓ロ税並に附

今回制定し

向くがまゝに出かけて **那輸出を阻害するが如き**

重る北麓交渉の経過並に代表に出席し、過去一年二ヶ月に

金融恐慌來を憂慮 よる

昨日の國務院會議で

歓迎宴開く

易を見てもらひに行つたところ三名ともきれいな仕事がよいといふので三人が揃つて銀行入りをしたといふのである 大正十五年望まれて安田を背大正十五年望まれて安田を背 行に入つたがこの動機が振つ氏は東大を出るとすぐ安田銀 ゆしも判らないと今でも苦のどこを見込んで神に仕へ 常別でトラピストの道士に北帯道に旅行した時は函館 たことがあり僕のやうな者 なれとしきりにするめられ を服られる、「移塩で税券 を那移入に際し適用せらるも のと観られる、「移塩で税券

く譲渡價格其地の大学の

片の通牒も無

日タス通信社を 酸を開始したが

特院に開催された國務院會議、十九日夜際任した大橋外交部 橋外交部次長 北鐵交渉の經過報告

を課する事となつて居るが、 を課する事となつて居るが、 実後确支間の北支問題並に 其後确支間の北支問題並に 其後确立間の北支問題並に 其後确立間の北支問題並に 其後确立間の出支問題並に 其後确立間の出支問題が に至つたが同税關に於ては 同税法を適用しつゝも今日 迄満洲土貨に對しては無税 通關を観行しつゝあり、尚 担つ轉口税は海路輸移入に 財政部 して居る、即ちいしたる貨物にして ものは暫行的に 粉、鉄、油槽 本、米及籾、其 を 、米及籾、其 を 、米及籾、其 を 、米及籾、其

口分關設置に伴ひ滿支相互の満洲國財政部では支那長城各

て完全な人間とし

嗣東軍兵站司令部附山路中佐歩兵第五聯殿附に榮轉した前

合せを行ふ

通關事務打

譲渡價格まで暴露 益々募るソ聯邦側の狂態

本外部に数表するに至った のは関際信義の破壊事實と して最も成立し居るもので り際側が今日迄之を確守し で外部に数表するに至った のは関際信義の破壊事實と して最も成立すべき遺憾の して最も成立すべき遺憾の ては去る三月五日廣田外相る一切の價格條件等に關しる一切の價格條件等に關しては去る三月五日廣田外相 外務省對策を考究 【ハルビン國通】北満各地に 北滿ラヂオ赤化 滿洲國當局 の眼光る

を見るのも尠いわけだが、市つてよい▼尤も今頃は氣候も

は、この事業のお蔭とい

今頃はそうした行倒れるの大きな恥辱でもあつた極まるもので首都新京と

かに受信してゐるとの情報にモスタワよりの赤い放送を秘 に努力中である、向外蒙古により滿洲興官憲はこれが摘設 約百州蚤の受信機を据へつ 特なども行つてゐるが、 收容 浪者は見つけ次第こゝに 收容

からの情報によ

一、外線建設 屋内用電話機 一、電話交換機 一、電話機 一、電話用器具、機械、材工電話交換機 一、電話機 一、電話用器具、機械、材

木棚通七三

新京電話工業株式會社

派員施履本氏は夫人の訃報に 派員施履本氏は夫人の訃報に の行倒れ姿を見るなどは、不 配着の時、到るところに満人 監察上の滿洲関にふさはしい 施履本氏夫人逝去 東土の補州号: り出さうといふ計書は、干り出さうといふ計書は、干 事業として、特別 市公署が南嶺に会 市公署が南嶺に会 に中毒者を収容

清酢 さくら奈良漬 ドー酒

商

新京八島通り四〇番地



二十日午後大時より大和ホテ れに於て開催した 平齊線平安堡に 匪賊來襲

來、猿奪を開始したが直ちに 様平安堡驛に數十名の匪賊變 依れば十九日午後九時頃平齊 依れば十九日午後九時頃平齊

東京國通 岡田首相は十大 一部関係は和開後大体の 居たが関内の空氣も積億化し 一部関係は和開後大体の 一部関係は和開後大体の で配合右機闘の設置を希望して で配合右機闘の必要が常識化 で居る右機闘の必要が常識化 で居る右機闘の必要が常識化 で居る右機闘の必要が常識化 で配合右機闘の必要が常識化 で居る右機闘の必要が常識化 で配合な地質を持たしめるかは注目 でれるが岡田首相としては無

政治季節を控 審議機開設置注目さる

露披御店開

四

やうな品を取揃へ開店致しましたか

屹度皆様に御氣に召す ら何本御買上は別として一鷹御来店の程御顧甲 お安く正價主義にて!!

月十六日より

(=)

0

界を征

服

ムへ收容して治療を 門片事者の勞働奉仕 新京救濟院を訪ふ

治つた患者を國都建設に使役受ければ治るそうが、これに めげてゐるそうだ、照一りつける日はその能力もグラ

社會へ戒煙所勞働者とし 米の道路建設に阿片とへ の道路建設に成功し

打ち下

の半分以上は充分管員の話を聽くとを関節を開います。

ロ中毒者の國都建設 とする努力が酬ひら

11.てゐる、黑煉瓦の低い建一物が六棟並んでゐる、風煉瓦の低い建一 場の中毒患者の中大部分は六 く名の中毒患者の中大部分は六 である、現在四十三 がある、現在四十三 がある、異煉瓦の低い建一

い野の原を三キロも行つたい野の原を三キロも行った、 一段から西南へ折れて道もな 新京の郊外、南贔街道をOC れて、

中までツルヘシ は毎日朝の入時

大同大街南嶺廣場か 米、福京

> を は彼等にとつてもまた天の道 である つて仕事が出来なく

新しましました。 ら供給されてあます、何し ろ今まで慶人同様な人達だ つたのですから青通の苦力 と同じやうな能率をあげる といふ譯には行きませんが それでも充分半分以上は働 きます、この工事が成功す れば市中に努力供給をする 駕崎主任は語る

そうですが、折角成功をれば市中に勢力供給をす ゐるが既に八十年 る、こゝには未だ入所したば を更生して世へ送り出してゐるが既に八十名以上の息者 とへロ中毒者を收容治療し 栗清部の松本主任の案内で

恵者の生活を覗く ・ 政済院(孤見院と臺老院) ・ 政済院(孤見院と臺老院) 運動時間のほかは彼等はこう引所と同じだ、毎日一時間の被煙所の中はさながら阿片吸 る者、座つたまょうつらうつ 死んだ様になつて眠込んでゐ ら白中の夢を追つてゐる者、 溺死者一

ー線に皆い支那服を着て廣漠 とした野原に道を拓いてゆく 後等の額から玉のやうな汗が 地面にひつきりなしに落ちて ある、背中に通つた汗がピッ

買つてやか度いと思つてる 見童代表に対 は勿論全 皆様の御心を傳 で日浦親善を强

受點附近に檢疫所を設け防疫 自二名その他四名を駐在せし めて長安方而から新京に入る もの、身体積査を行つてゐる がいまのところ十一月ごろま 首和警察では農安ヶ面に設生してゐるペストの豫防に備へるためさる十六日から寬城子の別院に備へ 前九時宮城前出設して以來路」
「京間二千哩走破大マラソンの」
「株岡は愈よ國都新京を目前に「技へ満洲の大陸的炎熱にも疲」
「教へ満洲の大陸的炎熱にも疲」
「大學村上沼館雨選手東京ー新」
大學村上沼館雨選手東京ー新

四

平

安方面から入り込む 來京者に身体檢查

豫防陣 **参してもらひたい』と訓辞あ** 滿見齋交曜曾を了へた

童の作文が贈呈

戰死者遺族慰問

【下陽関通道、満洲事種勃設當 特率天獨立守備験長として北 大營の殿闘に参加、武勇を轟 かし碩來北痛の警備に任じ、 今回教質步兵第十聯隊長に榮 中九日朝萧の闘盗連絡船で基

く握手して日満親箸の鴬めに 直しい精神で永久に皆様が固

麗しい精神で永久!

窯が爆發

百餘名死傷

開

挨

拶

(看護、附添、家政婦、多忙に付至急募集)

新京日本橋通り二四ノー

酸婦城川派遣婦會

電話五七二八番

島本聯隊長

業

々たる武勳を輝かし三年振り 高知に向つたが同大佐は北大 管で最死した部下の遺族を慰 間ずる筈である

マラソン使節 日本

【安京國通】今次の水害に依 る人畜の被害は多数に上る見 る人畜の被害は自下裁意調査中 であるが、玆に最も悲惨なの は安東 業可批工人の病人從 乗員は女子供を救ふ爲鑑の上 企識やに浸水せる爲め籤爆設 し女子供等は熟湯を浴ひ火傷 し女子供等は熟湯を浴ひ火傷 新京から

其 也 木

一般貨物の専用線
不 建 築 材 料

市中の奔流を見乍ら飲料水缺 瀘水機を急送

でも構內外の馬車自動車の出入が容易でありますの御便宜を計りますから精々御利用顧上ます倚此の専用線は鐵道北石墨道路に面し雨天の御便宜を計りますから精々御利用顧上ます倚此の専用線は鐵道北石墨道路に面し雨天

新京住吉町四丁

洲製油珠會社

運送部電話 二六〇七番

積卸並に保管に應ず

四道街警察署 ふ落成式

完成したので二十一日午前十 の道術大經路口に四道街警察 式を擧行する事となつた時新樂廳舎の講堂に於て落成 を期する爲め豫ねて市内西都警察廳では警察行政の檄

ミ良優

目科業營

川土粗花

砂地石

販開碎

斯 賣 拓 石 賣

崗石

材

採堀

及

加

上

行方不明五百に上る

一百名

安東水害その後の調査=

の見込み立たず諸設備の大部 分を洗失又は破壊され應急對 策に必死の努力中なるも現在

力

滿洲

花崗

石材合資會社

御鐵建

推路設

獎局局

本

一种 雷話三九〇七、五六三七番地

事務所京岡線土門號釋

一石山埋藏量六三○○萬才●

石

山 永吉縣第三區大頂子

屯 前

施し居るも目下の貯水は約一 三四個の井戸にて應条給水を

見舞電

荒木所長から

安東市民に

オリエンタルフィルム

寫眞機材料專門

^會
社木村洋行支店 奉天台紙「地名松町四一率天、支店大連、ハルビン、奉天城内率天城内の大学、東京大連、ハルビン、奉天城内

史に新飛躍を期か は近く決定 1 でゐるのが大和撫子の花で出って後千三百を內地へら注文する。 本本洋行では近々である。 本本洋行では近々である。 本本洋行では近々であると 品整瀬デーを實施するこの整 から三十日まで十日間列車帽 新京鐵道事務所では二十一日 備デー 車備品整 へる日滿見童の交驩會は廿日日滿親善三重縣學室使節を迎 頃着

新

新京婦

團体聯盟と改稱

に決まる

もりです。今後は大瀬洲へて一日も早く台灣へ闘るつとできました、これからはな

nインは午前十時頃となつた た、從つて新京に晴れのゴー

の大きい區域 よる損害が大

の一部を除き安東全部に及ひ 屋は山手町、山下町、六道溝 ある、水鷹のため浸された家

今回の水害は

鴨綠江の増水よ

の如く順優奔弄され船中より をも覧へず敦援降も手の下し とも覧へず敦援降も手の下し とも覧へず敦援降も手の下し

に依る安東水害詳報左の如所二十日午前十一時半層電所二十日午前十一時半層電

校友の歡迎會

これからはな

どしどし發展されるやう

る考へです、貴紙を通じて 期方への方々にお土産とす

大校友會員の一行歡迎會が盛大校友會員の一行歡迎會が盛

陽者を出したが、 時より水源地が決

約四千戸、收容せる避難民二 萬五千人、焚出し救助中の者 一萬八千を越へて居る濁流中 の市民に急造の筏が右往左往 と逃げ遅れた者行方不明負傷 数は判明しないが数百に上る

日安東地方事務所長に對し左 の水災見舞電を殺した

大浦洲國官民の方々へ宜し

旅客事務打合

現在迄の判明 現在迄の判明

東製材會社々宅が

多以に上つた、尚多以に上つた、尚

ラ

ソン使節

學童使節を迎 二十五日開催の豫定であつた 満鎌々道部主催の旅客事務打 合會は都合により來る三十日 三十一日の扇目に變更した、 なほ同會では旅客サービス策 の識題が多々特出されるもの

候を利用して鮮滿人の

て水を運ひ辛じ

吳港遂に優勝

一番

熊本敗る

商業

曜、祭日二十

、祭日 干海湖

五二四三番

銀行團リーグ戦

對正隆戰に

時診

間療

往宅診診

但》急患以此限リニアラス午後二時ョリ

午前十時十一年後

#

專科是小

倉殿酉

タンク車によつて新義州より 八ケ所しかなく目下平壌から 現在安東附屬地には井戸が七

全國中等野球

【安東國通】雨水源池の被害

しく右取敢ず御見舞申上ぐ 市民各位にも貴職よりよろ

心勢の程御同情に堪へず、

給水は一日半分

は嘲長三井氏に引率せられ先前十一時文教部を訪れた一行職をで和やかに開催された午 午前十一時廿分より文教部 本お園の御援助を給はり段 代裘して金君(一四)より 私達の確洲剛は韓國以來色

のふ文教部で和 (一六)は立つて K

全市

倉君

耳ひ大事に至らり

代政にて開始、兩軍好守好投 り天知(録) 四氏審判の下に熊本田(量)四氏審判の下に熊本田(量)四氏審判の下に熊本

吳港五回二點をあげ遂に二▲

現在迄の所何等

が、二十日午後一時三十分かは一般注視の的となつてゐた

||三百とり揃へて、六十銭で賣出してゐる、服はキャラコで出してゐる、服はキャラコで出しておい、大日本の別型で上部に大日本のは直徑一寸三分

どの内容を充實する

中に客車軽油動車な

内支部の設會を

聯盟の

顔觸れ

月に在長春各婦

告したが同時に新規更生の

事長は起立してすり 事長は起立してすり 事長は起立してすり

婦人會としての最

松来の新京聯合婦人會が組験 にある各婦人園体によつて組 にある各婦人園体によつて租 関を改稱されたが同會は新京 構造には委員長の他に常任委員 員には委員長の他に常任委員 日本々若干名が置かれ役員の任

台灣から遙々

満洲國へ走破

能美透君本社來訪

光開その他七名

原、光端の検

ガれ近く推薦されるはず がれ近く推薦されるはず

に非常時は

制服着荷

を訪れた同君はユニホーム委 を訪れた同君はユニホーム委 を訪れた同君はユニホーム委

く顔る元氣で左の如同君はユニホーム姿

今日一

ましに固ふする國防婦人會のいで立ちこそ銃後の護りを彌に雌々しいと記した黄色の裸に雌々しい

には汽車も飛行機もある、関下に面合したとき、関で 関下に面合したとき、関下去る七月十六日旅順で変刈

段池 000020 本一回「熊本」浦本盛んにフ アウルを打上げた後三幅張 関安打、岡本の投制に二進 関上投制に浦本二三間に封

大自然は効果的

元氣回復して

京地方事務所長は目下鴻鍛本本人は何知らぬ顔して三十六本人は何知らぬ顔して三十六本人は何知らぬ顔して三十六本月間の二十日午前七時"京漕急行で霽京した一ヶ月前には見られなかつた赤銅色に丸々なり体電も一貫日以上殖え全

に登職した所長は所長室で語 した、お陰でご覧の通り色長々留守してお世話さまで 總てを忘れて大自然にひた お陰でご覧の通り色

が別に何もありやあしない本社には一寸額出しはした ね首都新京程仕事が多くて いよ、俺には新京が最も遊働き甲斐のある處は他にな

二三02 三三四06 五00 六00 七10

店



五五話電